

# 教育研究業績書

所属	職名	氏名
幼児教育学科	准教授	市川文字

I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年 月 日	概 要
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) ・優れた教育方法の実践例  ・学生の授業外における学習促進のための取り組み	平成19年4月～平成20年3月  平成17年4月～平成29年9月(現在に至る)  平成22年4月～平成29年9月(現在に至る)	聴覚障がい者の為の英語教育において、板書を増やしたことと同時に、ホワイトボードを用い他の学生や教員との意思疎通を試みた。また語句の説明や訳の示すために準備しておいたホワイトボードをタイミング良く指し示した。英会話の授業においては同様にホワイトボードを利用することによって支障なく授業を進めることができた。このことは対象学生である聴覚障がい者だけでなく、他の学生に対してもその理解において曖昧な表現や単語のスペルと確認・訂正できたことにおいて大いに有効であった。対象学生が卒業後も板書を工夫し、必要であればホワイトボードを利用している。  英語の力はそれぞれに違うため、例えば英作文は授業中に一人ひとりに的確な添削と指導を行うことは難しい。また英語の発音においても苦手な学生や得意な学生、ある特定の発音が難しく授業中などの短期間では克服できない。このような場合は、必要に応じて随時、昼休みや放課後を利用して指導を行っている。指導する学生は例年、半数以上を占めており、学生は確実に1年間で力をつけており、有効であると考えている。  英語に興味を持ち、更に力をつけたいと考えている学生は例年少数ではあるが確実に存在する。そのような学生の為に、週1回程度時間を設け、英会話・輪読会などの指導を行っている。学生たちが希望する内容を取り上げ、知識と理解を深めている。
(2)作成した教科書・教材・参考書		
(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
(4)その他教育活動上特記すべき事項 ・学生の授業外における学習促進のための取り組み	平成元年4月～平成29年9月(現在に至る)	私は赴任以来、様々な場面において学生に自分で気づき自分で行動を起こせるようにアプローチしている。例えば、実習における学内オリエンテーションでは、教えてオリエンテーションについての掲示はせず、学生の自主的な行動を促している。また外部での礼儀、話し方を想定し社会人としても通用する、きちんとした対応をするように指導している。一人ひとりに対応するため時間を労力が恐らく数十倍になると考えられるが、重要な指導のひとつであると考え、長年実行している。

II 研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻、号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					

(論文)					
(その他)					

**Ⅲ 学会等及び社会における主な活動**

平成17年4月～平成29年9月(現在に至る)	熊本アイランド協会役員